

# 「もんじゅ」廃止措置の進捗状況について

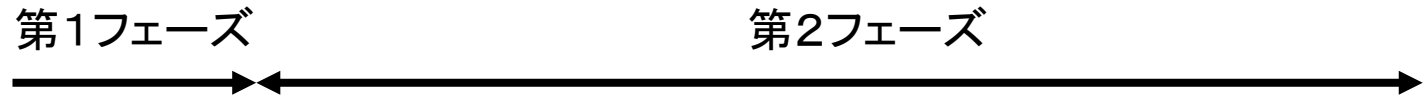
令和元年10月  
文部科学省

# 「もんじゅ」の廃止措置計画の全体工程について

区分	第1段階 燃料体取出し期間	第2段階 解体準備期間	第3段階 廃止措置期間Ⅰ	第4段階 廃止措置期間Ⅱ	
年度	2018 (平成30) ~ 2022 (令和4)	2023 (令和5)	~	2047 (令和29)	
主な実施事項	燃料体取出し作業				
		ナトリウム機器の解体準備			
			ナトリウム機器の解体撤去		
	汚染の分布に関する評価				
		水・蒸気系等発電設備の解体撤去			
				建物等解体撤去	
	放射性固体廃棄物の処理・処分				

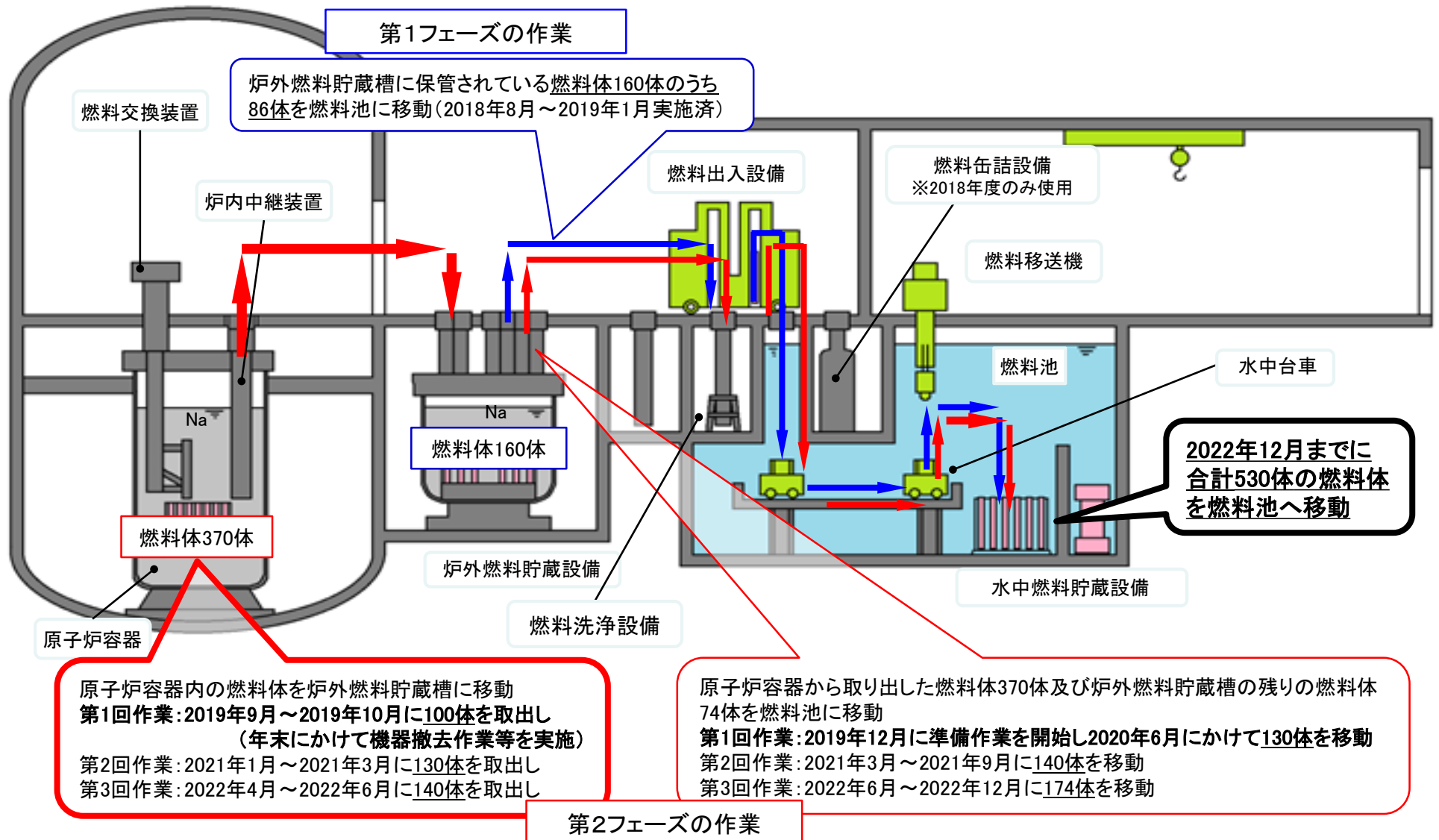
# 「もんじゅ」燃料体取出しに係る工程

- 第1フェーズにおいては、炉外燃料貯蔵槽に保管されている燃料体160体のうち86体の燃料池への移動を実施済。
- 第2フェーズにおいては、「もんじゅ」の原子炉容器内の燃料体370体を3回に分けて取り出し、炉外燃料貯蔵槽を経由し、同貯蔵槽内の残りの74体とあわせて燃料池に移動させる。



年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
第1段階における主な作業及び点検	燃料体の処理 炉外燃料貯蔵槽→燃料池 (炉外燃料貯蔵槽に保管されている160体+原子炉容器から取り出した370体=530体)	2018.8 ~ 2019.1 86体(済)	※1 2020.6 130体	2021.9 140体	2022.12 174体	燃料体取出し作業完了 ▽ 2022.12
	燃料体の取出し 原子炉容器 →炉外燃料貯蔵槽 (原子炉容器内の370体)		2019.9 ~ 2019.12 100体 (取出し作業:9/17~10/11)	2021.1 ~ 2021.3 130体	2022.4 ~ 2022.6 140体	
	設備点検及び改良・対策等					
※1 燃料体の処理作業の実施前に準備作業を実施予定						

# 「もんじゅ」燃料体取出し作業の内容



# 參考資料

# 高速増殖原型炉「もんじゅ」のこれまでの経緯と現状

## 1. 施設の概要

場所：福井県敦賀市

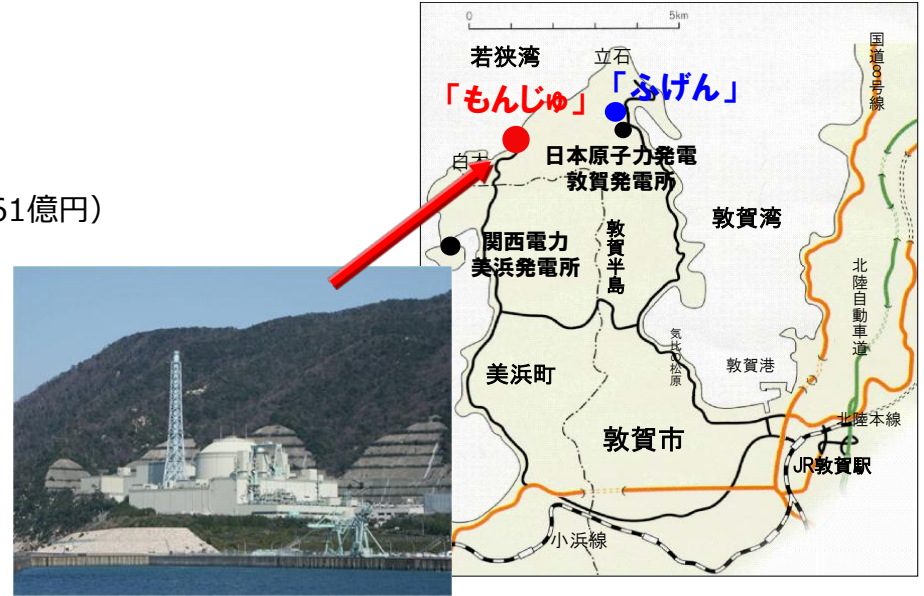
電気出力：28万kW（一般の原子力発電所は約100万kW）

これまでの予算額（S55～R1）：10,947億円

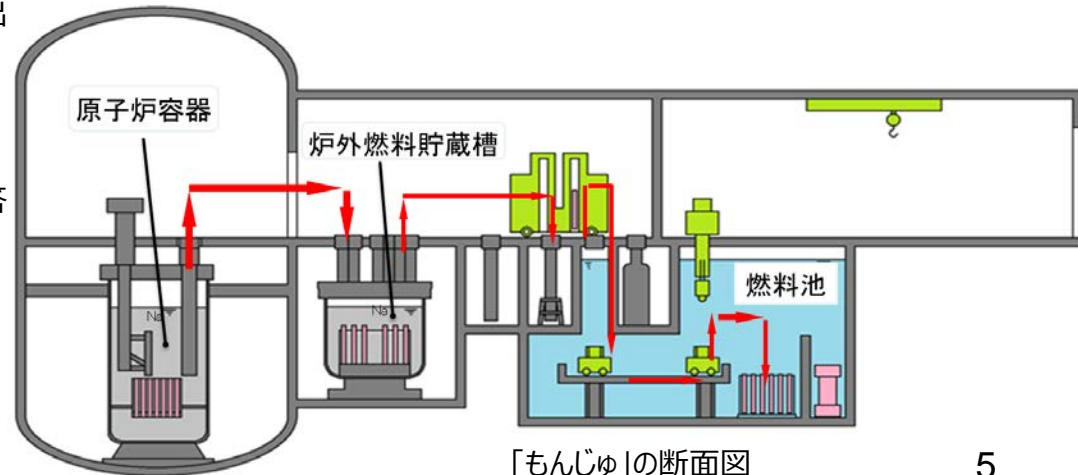
（うち建設費:5,886億円（うち民間支出:1,382億円）、運転・維持費等:5,061億円）

## 2. これまでの経緯

- 昭和58年 5月 設置許可
- 平成 6年 4月 初臨界（205日運転）
- 平成 7年12月 40%出力試験中に2次冷却系のナトリウム漏えい事故
- 平成22年 5月 試運転再開（5月8日臨界達成）（45日運転）
- 平成22年 8月 炉内中継装置の落下トラブル発生
- 平成24年11月 機構は自ら約9千点の機器の点検漏れを原子力規制委員会に報告
- 平成24年12月 規制委員会より1回目の保安措置命令
- 平成25年 5月 規制委員会から運転再開準備の準備停止含む2回目の保安措置命令
- 平成27年11月 原子力規制委員会から文部科学大臣に対し勧告発出
- 平成28年 9月 「今後の高速炉開発の進め方について」決定
- 平成28年12月 「『もんじゅ』の取扱いに関する政府方針」決定  
（原子炉としての運転再開はせず、今後廃止措置へ移行することが決定）
- 原子力規制委員会勧告に対し文部科学大臣から回答
- 平成29年 6月 「もんじゅ」廃止措置推進チームにおいて、もんじゅの廃止措置に関する政府の基本方針の決定及び原子力機構の基本的な計画を了承
- 平成30年 3月 廃止措置計画が原子力規制委員会により認可
- 平成30年 8月 炉外燃料貯蔵槽からの燃料体取出し作業開始
- 令和元年 9月 原子炉容器からの燃料体取出し作業開始



高速増殖原型炉「もんじゅ」



「もんじゅ」の断面図